

1. 細胞治療プロジェクト・ブランディングリーダー挨拶



学長 神田 享勉  
(ブランディングリーダー)

金沢医科大学は北陸の地で細胞治療イノベーションを戦略的に展開します  
金沢医科大学 学長/ブランディングリーダー 神田享勉

これまでアカデミアは科学・技術の新たな地平を切り拓く中心的な役割を果たしてきました。多くの場合、各研究分野における研究者がそれぞれ独創性を発揮し、大学はそれらの研究者をサポートする役割を担うことで知のフロンティアが拡大されてきました。一方、現在の日本の社会構造は急速に変化しており、官民だけでは対応できない社会的課題の解決に向けたアカデミアの積極的な関与が期待されるようになってきています。そこで多くの大学において、社会的課題の解決を個々の研究者の努力に委ねるだけでなく、学長がリーダーシップを発揮し、大学経営の一環として課題の解決に立ち向かうという、いわゆる研究経営という考え方がなされるようになってきています。

以上を背景として、本学は「細胞治療」をテーマとする研究経営体制を整備することとし、平成27年4月には金沢医科大学病院内に再生医療センターを設置するなど準備を進めてまいりました。そして平成28年度には「北陸における細胞治療イノベーションの戦略的展開」という学内研究プロジェクト(略称:細胞治療プロジェクト)を5年度の計画にて推進することを大学として決定いたしました。この計画は平成28年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業の支援対象課題として選定され、平成28年度から5年間の補助を受けられることとなりました。大変光栄かつ身の引き締まる思いですが、地域と共生する金沢医科大学を代表する立場として、皆様の期待に応えられるよう大学をあげて取り組んでまいります。皆様の暖かいご理解とご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

2. 事業概要

細胞治療プロジェクトは研究の推進と研究成果の社会展開、すなわちブランディングを両輪として推進します。まず研究面では、本学病院として実際に細胞治療を実施している再生医療センターを研究プロジェクトの実施拠点とし、医学部、看護学部、研究所等に所属する意欲的な研究者が、所属講座等の垣根を越えてプロジェクトに参画できる体制としています。この体制により、部署横断的な有機的連携を実現させ、研究成果をいち早く創出できる研究チームを組成します。また、他大学等の研究機関に本学で開発した細胞を提供できるよう、バンク化を行います。

プロジェクトの両輪のもう一方である社会展開面では、研究成果を学術論文として発表するだけでなく、新規治療法を心待ちにしている一般市民に向けた広報活動も展開します。他方、新規治療法が実際に医療現場で使われるためには、産学官連携による実用化のほか、治療法の安定的運用に関わる技術者等の人材育成も必要です。前者に対しては特許等の知的財産権の確保、後者に対しては高等教育機関として大学院での教育に努めていきます。また、高校生向けのセミナー等を通じて、幅広く人材育成に貢献します。

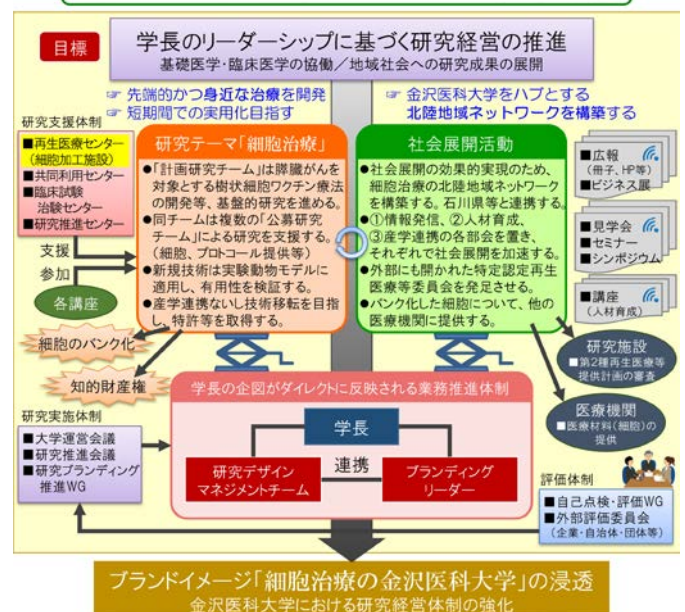
研究 実用的な治療の開発を目指し、細胞治療の基盤的研究を推進します

- がん、肉腫、白血病を対象とする樹状細胞ワクチン療法を実施し、さらなる高度化を推進します。
- また、脂肪由来の治療用細胞を用いた医療技術開発を推進します。

社会展開 アウトリーチ活動を推進し、細胞治療に関する研究活動の成果を社会に展開します

- 細胞治療に関するシーズおよびニーズについて情報発信し、新製品の实用化に向けた産学連携を推進します。
- 大学院で専門人材を育成するほか、高校生等に向けたアウトリーチ活動を通じて人材育成の裾野を広げます。
- 種々の幹細胞をバンク化し、大学等、他の研究機関に提供します。また、新規細胞治療法の開発を支援します。

北陸における細胞治療イノベーションの戦略的展開



### 3. 再生医療センター見学会「セルセラピー・デイ」開催報告

3月3日(金)、金沢医科大学病院再生医療センター見学会を開催しました。

また、同日、経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局が主催するライフサイエンスセミナー in 金沢が開催され、本学の研究者2名が細胞治療に関する講演を行いました。本学はこの一連の行事を「セルセラピー・デイ」(Cell Therapy Day=細胞治療の日)と称し、株式会社ジェック経営コンサルタント様(平成28年度地域中核企業創出・支援事業(北陸地域ライフサイエンス産業創出支援事業)の受託事業者)の協力を得て実施しました。見学会には23名、セミナーには定員を超える77名が参加し、大変盛況なイベントとなりました。

セミナーでは中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局長の渋谷浩様が開会挨拶のため登壇され、北陸・中部地域でのライフサイエンス分野における産業発展の期待を述べられました。引き続き本学の学長・神田享勉が登壇し、北陸地域で細胞治療研究を推進することの意義について述べました。以上の開会挨拶に続き、再生医療センター長の堤幹宏が再生医療センターの紹介を行い、その後、総合医学研究所教授の石垣靖人および再生医療学教授の小平滋隆がそれぞれ講演を行いました。

参加者アンケートでは、講演がわかりやすかった等の感想を多くいただいたほか、すみやかな治療法の開発に期待する切実な声もお聞きしました。これらの声を励みに、関係者一同、細胞治療プロジェクトの推進を加速するとの決意を新たにしました。

#### 【平成28年度「セルセラピー・デイ」プログラム】

##### ◆金沢医科大学病院 再生医療センター見学会

日時：平成29年3月3日(金) 13:00~14:25 3部交代制

集合場所：金沢医科大学 医学教育棟5階 E51講義室

定員：30名(各回定員10名)

主催：金沢医科大学(後援：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局)

##### ◆ライフサイエンスセミナー in 金沢

日時：平成29年3月3日(金) 14:30~17:00

場所：金沢医科大学 医学教育棟5階 E51講義室

定員：40名

主催：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局(後援：金沢医科大学)

開会挨拶：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 支局長 渋谷 浩 氏

金沢医科大学 学長 神田 享勉

取組紹介：金沢医科大学病院再生医療センター

教授・センター長 堤 幹宏

講演：

<講演Ⅰ>「細胞培養技術と金沢医科大学病院再生医療センターのご紹介」

総合医学研究所 生命科学研究領域 教授 石垣 靖人

<講演Ⅱ>「がんの最適医療(Precision Medicine)の実現に資するがん免疫療法の構築」

医学部・再生医療学 教授 小平 滋隆

閉会挨拶：金沢医科大学病院再生医療センター

教授・センター長 堤 幹宏



細胞調製室の見学風景



センターの取組紹介に聞き入る参加者

### 4. INFORMATION

#### ■共同研究のご提案を受け付けます

次についてご興味がありましたら、ぜひ下記問い合わせ先までご連絡ください。その他のご提案も歓迎します。

- 開発してきた化合物等がどのような作用を持つのか細胞で簡単に調べてみたい。
- 細胞調製室で用いられるガウン、容器、グローブ等の改良につながるアイデアを試してみたい。
- 滅菌や消毒のアイデアを試験してみたい。

#### ■一緒にできます

本学のスタッフと第4回再生医療産業化展(2018年2月21日[水]~23日[金]、URL: <http://www.regenmed.jp/>)の視察に出かけてみませんか? 詳しくは次号以降でご案内いたします。

#### ■寄稿のお願い

細胞治療に関する問題、課題等について、ご意見・論文がございましたら下記問い合わせ先までお寄せください。

#### <問い合わせ先>

金沢医科大学 研究推進センター(細胞治療プロジェクト担当)

TEL:076-218-8324(直通) E-mail:hrc-jimu@kanazawa-med.ac.jp

#### Q. 文部科学省私立大学研究ブランディング事業とは?

A. 学長のリーダーシップの下、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学に対し、文部科学省が施設費・装置費・設備費と経常費を一体的に支援する事業です。

同事業では、地域の経済・社会、雇用、文化の発展・深化に寄与する研究(タイプA)及び先端的・学際的な研究拠点の整備により、全国的あるいは国際的な経済・社会の発展、科学技術の進展に寄与する研究(タイプB)を支援対象としています。金沢医科大学細胞治療プロジェクトは同事業のタイプAの研究課題として支援を受けています。

URL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002/1379674.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002/1379674.htm)